

を申告してもらい集計しました。その結果、25人の4ヶ月間の総勤務時間数1万6000時間の内、総合戦略に費やした時間が2268時間。職員1人当たりの平均時間が90・72時間、率にすると14・2%という集計結果でした。

また、取組んだ事業の内、細川紙・大河原和紙技術者研修生支援事業が職員1人で11%。空き家調査事業、空き家リノベーション事業が職員2人で、平均43%。事務局事務が職員3人で平均26%となっております。さらに、課として取組む率の高い産業建設課としてみた場合、職員5人で平均29%となっております。

### 渡邊 均 議員

#### 質問 庁舎の建設について

(内容) 現在の役場庁舎は、昭和45年8月に建設され47年が経過しています。数年前に耐震工事や増改築をしながら現在に至っているが、今後の庁舎建て替えの次期、計画について

答弁 本年4月に策定した「公共施設等総合管理計画」では、役場庁舎は大規模改修の必要な時期が到来しているが、定期的な点検や診断を行い、適切な修繕等により長寿命化を図っていく基本方針を定めました。

厳しい財政状況のもと、住民サービスの向上が最優先されま

すが、議員の一般質問を契機に庁舎の整理も住民サービスのひとつとらえ、なるべく早い時期に内部での検討を努めていきます。

#### 質問 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用について

(内容) 東秩父村として、細川紙紙漉技術のユネスコ登録や昨年の和紙の里リニューアルなど一連の事業を通じて地域活性化に取り組んでいるところだが、村からの情報発信について、SNSの利用活用の取組みについて

答弁 本村では、観光のみならず埼玉県唯一の村である「東秩父村」の知名度向上のため、平成29年6月30日より公式SNSを開設しました。

世界規模で最も利用者数が多いフェイスブックを基本に運用を行っており、平成29年9月1日現在累計約2万件の閲覧が確認されております。

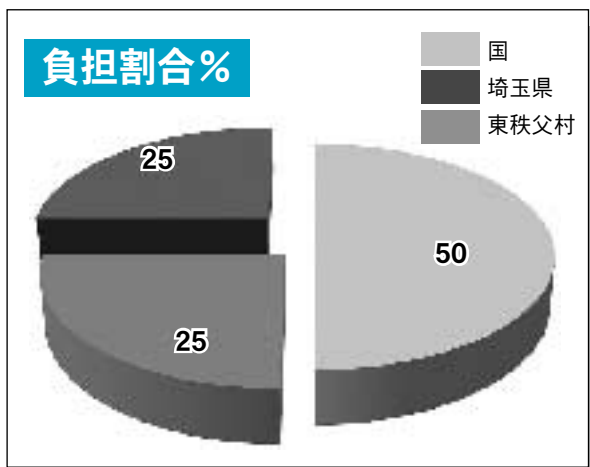
また、比較的若者が多く利用しているインスタグラムについても同様に運用しており、これまであまり来訪が見受けられなかった若年層についても、積極的にアプローチしています。



# 航残して悔い残さず!! シリーズ 地籍調査 ④



## 地籍調査経費の負担割合



東秩父村が実施主体となって調査を行います。

調査経費の負担割合は、

国が50%、県が25%、村が25%(※1)となっており、土地所有者の費用負担はありません(※2)。

ただし、立会などで貴重なお時間をいただきますが、皆さんの財産である土地を明確にするためですので、ご理解をお願いします。

※1. 調査経費は、特別交付税の対象となっており、埼玉県および東秩父村の実質負担は調査経費の5%となっていますので、たいへん有利な補助事業です。

※2. 立会における交通費等は個人負担となります。



地籍調査の推進にご理解とご協力をお願いします。  
産業建設課地籍調査担当  
☎ 82-1222